

衆議院国土交通委員会ニュース

平成 30. 3. 16 第 196 回国会第 4 号

3 月 16 日（金）、第 4 回の委員会が開かれました。

1 道路法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 3 号）

- ・石井国土交通大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・宮本岳志君（共産）が討論を行いました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成－自民、立憲、希望、公明、無会、維新 反対－共産）

（質疑者及び主な質疑内容）

矢上雅義君（立憲）

- ・国及び地方公共団体の管理する橋梁・トンネルの 5 年に 1 回の点検及び補修の進捗状況について伺いたい。
- ・重要物流道路はどのような基準で指定されるのか、その基準と具体的なイメージを伺いたい。

森山浩行君（立憲）

- ・共有私道においてインフラを整備する際、土地所有者全員の同意が必要となるが、その一部の所有者が不明な場合に整備が進まない現状にある。これに対する政府の取組を伺いたい。また、一部の反対者がいる場合の国土交通省の取組を伺いたい。
- ・財務省による森友学園への国有地売却に関して、国土交通省が公文書改ざんを知った時期及び経緯について、時系列に沿って伺いたい。
- ・森友問題に関する野党の合同ヒアリングにおける国土交通省の対応について、大臣の見解を伺いたい。

森田俊和君（希望）

- ・平成 26 年度からの 5 年で全ての橋梁を点検するとしているが、特に全国で約 48 万橋ある市町村管理部分の点検の進捗状況及び平成 30 年度までに全ての検査が終わる見通しについて伺いたい。
- ・無電中化率について、諸外国に比べ著しく低い理由及び今後の目標値を伺いたい。
- ・重要物流道路を指定していく中で鉄道との接続の関係性をどのように考えているか、また、鉄道においても同様の考え方を取り入れ、平常時、災害時に対応できるようなバイパス路線網を整備する必要があると考えるが見解を伺いたい。

広田一君（無会）

- ・今回の道路法の改正で新設された規定のうち、第 50 条第 4 項及び第 5 項並びに第 51 条第 3 項について、政府が作成する「法律案要綱」に記載がなかったが、新設の規定がある場合、すべてのものについて記載すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- ・道路財特法に基づく道路の改築に係る国費率のかさ上げ措置が果たしてきた役割について、どのように評価し総括しているのか。また、延長期間を 10 年間とした理由と補助国道の修繕を対象とした理由について伺いたい。

宮本岳志君（共産）

- ・特殊車両について通行許可を必要とする意義は、道路の劣化防止や交通事故による影響が大きいことなどであることに間違いはないか。また、直轄国道及び都道府県道における特殊車両の取締り実績、国際海上コンテナ車の 2011 年から 2016 年の 6 年間の転覆・転落・路外逸脱の事故件数、そのうち通行許可を取っていない件数は何件か。
- ・国際海上コンテナ車が、通行許可を不要とする道路から当該許可を必要とする道路に入る可能性を排除できる規定を本法律案において定めているか。
- ・重要物流道路の指定制度には高速道路も含まれるため、新たな高速道路の建設につながるのではないか。それよりも必要なのは老朽化対策だと考える。

井上英孝君（維新）

- ・道路の老朽化の進行に伴い、今後、維持管理・更新費の増大が見込まれるが、地方公共団体が管理している多くの橋梁の老朽化に対する国土交通省の見解と点検の進捗状況について伺いたい。

・今回の改正により、一部の重要物流道路をコンテナ車等の大型車両が通行することとなり、更なる交通安全対策と 地域の実情への配慮が必要であると考えているが、どのように対応するのか伺いたい。

2 外国人観光旅客の旅行の容易化等の促進による国際観光の振興に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第4号）

・石井国土交通大臣から提案理由の説明を聴取しました。